

戦後70年 被爆70年 今年こそ憲法をいかにす年に!

2015年がスタートしました。「今年こそ、平和な年に」。多くの方々の願いです。

ユニセフ(国連児童基金)は昨年末、「2014年は世界中の何百万人もの子どもたちにとって、恐怖と失望の年である」と発表。武力衝突や紛争の犠牲になっている子どもたちを守ろうと呼びかけました。世界中で地域紛争を泥沼化させている軍事行動をやめさせ、対話による紛争解決をめざすことが求められています。

その道を指し示しているのが、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と宣言した「日本国憲法9条」です。310万人の日本国民の命、2000万人以上のアジアの人々の命を奪った15年戦争。その痛苦の反省の上に、戦争放棄をうたった日本国憲法が生まれました。いま、その価値は世界に認められています。

今年、戦後70年の節目の年。世界に誇る日本国憲法を守り、いかにす年にしましょう。



「戦争する国」なんてぜったいダメ! 憲法9条をいかにした平和外交を!

安倍政権の 「戦争する国」づくりSTOP!

～総選挙で示された
平和を願う声をさらに大きく～

安倍首相は、総選挙の結果を受け「信任」を得たとして、アベノミクスの推進、集団的自衛権行使の法案整備、改憲や原発再稼働をすすめようとしています。しかし、9条改憲に積極的な自民党と次世代の党は、22議席減らし、一方で日本共産党が大きく議席を伸ばしました。また、沖縄では、辺野古新基地建設に反対する翁長知事の誕生に続き、4小選挙区すべてで新知事を支える「オール沖縄」の候補が勝利しました。

これは、憲法をないがしろにして「戦争する国づくり」「世界で一番企業が活動しやすい国づくり」を強引にすすめる安倍政権につきつけた「国民の声」の結果です。

「若者を戦場に送るな」「いのちとくらしを守れ」の総選挙で示された声をさらに大きく広げましょう。

「自公大勝」と マスコミは言うけれど、本当?

自民党は議席を改選前より4議席減らしました。また、自民党は小選挙区では得票率48%なのに議席の76%を獲得しています。民意をもっともよく反映する比例代表選挙での得票を見ると、自民党は2013年の参院選と比べて80万票減、公明党は25万票減です。

自民党議席の「多数」は、比較第1党が議席を独占できる小選挙区制度のマジックによる「虚構の多数」です。